

たのはた

議会だより

No.
136
2023.8.10
岩手県田野畑村議会



マレットを楽しもう！

村長杯マレットゴルフ大会が6月18日、明戸マレットゴルフ場で開催されました。大会には村内外から腕自慢48人が出場。一打一打に集中しながらも、和やかにラウンドしていました。誰でも気軽に始められるマレットゴルフ。職場のレクや友達同士で楽しんでみませんか。

6

月定例会

- 2 第4回定例会議案の議案
- 4 ここが聞きたい！一般質問
- 8 みんなのスマイル

6 月定例会で決まったこと

議案等 番 号	議案名等	審議結果
報 告 第 1 号	繰越明許費繰越計算書の報告について (令和4年度田野畑村一般会計予算)	原案可決 (全員賛成)
報 告 第 2 号	事故繰越し繰越計算書の報告について (令和4年度田野畑村一般会計予算)	
議 案 第 1 号	田野畑村子ども、妊産婦、重度心身障がい 者及びひとり親家庭医療費給付条例の一 部を改正する条例	
議 案 第 2 号	田野畑村生徒医療費給付条例を廃止する条例	
議 案 第 3 号	令和5年度田野畑村一般会計補正予算 (第2号)	
議 案 第 4 号	令和5年度田野畑村国民健康保険特別会計補 正予算(第1号)	
議 案 第 5 号	令和5年度田野畑村介護保険特別会計補正予 算(第1号)	

126万1千円
・機械器具費：25万5千円
※注：保険料率が確定したことによ
る歳入・歳出予算の減額。
【直営診療施設勘定】93万2千
円を減額(※注)し、総額を
1億1788万5千円とするもの。主
な内容は次のとおり。
・医科 修繕費：23万1千円・
・医科 レントゲンシステムリース料
：21万8千円
●令和5年度田野畑村介護保険特別会
計補正予算(第1号)
【保険事業勘定】31万5千円を増額し、
総額を5億3867万6千円とするも
の。主な内容は次のとおり。
・介護事業所台帳管理システム使用料
：22万円
・介護事務所台帳管理システム導入委
託料：11万円



第4回定例会は、6月12日から15日までの会期で開かれ
ました。村長提案の報告2件、議案5件は、原案どおり可決。
一般質問は、3人の議員が登壇し、村の姿勢を質問しました。

夏本番。園児たちは、堰堤に出て元気に水遊び。

議決した主な議案

●繰越明許費繰越計算書の報告に
ついて(令和4年度田野畑村一
般会計予算) 条例

令和4年度に計上した予算で、
庁舎等維持管理費ほか15事業の繰
越総額1億6288万円を5年度
に繰り越すもの。

●事故繰越し繰越計算書の報告に
ついて(令和4年度田野畑村一
般会計予算)

令和4年度に計上した予算で、
観光費の194千500円を5年
度に繰り越すもの。

●田野畑村子ども、妊産婦、重度
心身障がい者及びひとり親家庭医
療費給付条例の一部を改正する条
例

今年8月1日から、県内統一の
制度として、こども医療費の現物
給付方式が拡大することに伴い、
子ども医療費助成の給付対象を中
学生(15歳到達年度末)までから
高校生等(18歳到達年度末)まで
拡大すること。
●田野畑村生徒医療費給付条例を
廃止する条例

高校生(18歳到達年度末)の医
療費給付については、「田野畑村
子ども、妊産婦、重度心身障がい

者及びひとり親家庭医療費給付条
例」で規定し、本条例を廃止する
こと。

補正予算

●令和5年度田野畑村一般会計補
正予算(第2号)

331万6千円を減額(※注)
し、総額を34億1777万7千円
とするもの。主な内容は次のと
おり。

・経営発展支援事業交付金：
562万5千円

・公共施設等環境整備委託料

・養殖漁業振興調査業務委託料円

・未熟児養育医療給付費：
150万円

・定住促進住宅改修事業費補助金
：150万

・田野畑村新規起業等支援補助金
：150万円※注：デジタル田園
都市国家構想交付金事業の充当事
業の予算を減額したことが主な理
由です。

●令和5年度田野畑村国民健康保
険特別会計補正予算(第1号)

【事業勘定】16万5千円
を減額(※注)し、総額を
5億9159万5千円とするもの。

主な内容は次のとおり。
・一般被保険者医療給付費：

議案 Pick up

こんなことが決まりました

【条例改正】

子ども医療費助成の給付対象を拡大

今年8月1日から、
高校生等(18歳到達
年度末)までの医療費

は、現物給付の制度に
移行しています。この
ことに伴い6月定例議

会では、給付対象を高校生等ま

で拡大する条例の改正案が提案
され、全員賛成で議決されまし
た。

これは、総合的な子育て支援

【補正予算】

ワカメ加工施設整備に関する調査業務

養殖漁業振興調査業務委託は、
ワカメ生産量の動向と村における
生産実態の確認、ワカメ養殖の課
題分析、需給構造・流通構造の調
査、振興計画の検討などに取り組
むものです。

村は、ワカメ加工施設の整備に
ついて、3月定例議会での質疑を
踏まえて計画を見直すこととして
いました。

村の養殖ワカメ生産に関する課

題分析や調査を行うとともに、漁
業関係者との協議を行い、振興計
画につなげていく考えです。



ここが聞きたい！一般質問

3議員が村政を問う

6月定例会の一般質問は6月22日に行なわれ、中村勝明議員、上村浩司議員、佐々木功夫議員の3人（登壇順）が、村政運営や産業振興対策、教育行政について村の考えを問いました。ここでは、各議員の一般質問と村長・教育長の答弁の内容を掲載します。

質問議員	質問項目
中村 勝明	◆保育園児の副食費補助をどう考える ◆新型コロナウイルス感染症の対応について伺う（その他の質問） ・養殖ワカメ加工施設の事業運用について ・高齢等による難聴者への補助 ほか7件
上村 浩司	◆役場庁舎の建て替えを検討しているか ◆道の駅の今後の取り組みについて伺う
佐々木 功夫	◆三陸道と道の駅の接続道路の進捗は ◆長嶺牧野新畜舎整備をどう判断するか（その他の質問） ・道の駅周辺へのコンビニ出店について

（一般質問のうち、各議員2項目を抜粋し掲載しています。）

役場庁舎建て替えの検討をしているか 村長…まずは検討チーム研修を実施 村民参加の検討会での議論へ



上村 浩司^{議員}

【問】役場庁舎の建て替えについて、職員による検討を始めているのか。

【村長】庁舎建て替えについては、まずは庁内での検討を本格化させることとしており、6月9日に若手職員による検討チームを立ち上げるための研修を実施した。秋までを目途とし、これまでの調査結果などを基にして、整備の基本理念やスケジュールを整理したい。

その後で、村民参加の検討委員会を立ち上げ、議論を加速化させ、事業着手に繋げていきたい。

【問】新型コロナウイルス感染症の5類移行により道の駅の集客回復が期待される。一方で、他の道の駅が新設するなど状況が変化している。観光や地域振興の拠点として、これからのシーズンに向けた取組みを考えているか。

【村長】運営会社では、産直部会による農林水産物販売に加え、オリジナル商品の開発・販売、観光情報などの情報発信に取り組んでいる。

村は、今年も「道の駅たのはた」を会場に「産業祭り」を開催する。農林水産物やオリジナル商品等の販売に加え、村産品の高付加価値化の取り組み、体験を通じた交流人口増などで活性化を図っていく。

また、他の道の駅のオープンは、沿岸地域全体への注目と集客が高まる絶好の機会と捉え、独自イベントや連携イベントが実施できるよう誘導していきたい。

三陸道と道の駅の接続道路の進捗は 村長…国への申請準備を進めている 関係機関の調整は終盤と認識



佐々木 功夫^{議員}

【問】長嶺牧野の新畜舎整備について、アンケート調査や懇談会の意見を踏まえて、どのように判断しているか。

【村長】アンケート結果は、預託を希望する方が回答者21名中5名、預託予定数が35頭であり、預託受け入れ可能頭数170頭に対して非常に少ない結果となった。

また、酪農家との懇談会では、畜舎整備よりも粗飼料の確保や現在の運用方法の見直しを求める意見が多く、村としては多額の事業費や維持管理経費を勘案して、新畜舎の整備は見直すべきと判断している。



中村 勝明^{議員}

保育園児の副食費補助をどう考える 村長…3歳未満第2子以降を無料化 第1子は総合的に検討したい

【問】保育園児の副食費補助は、村として予算措置すべきと考えるが、村の認識を伺う。

【村長】6月定例議会に、3歳未満児の第2子以降の副食費を無料にする補正予算をお願いしている。これは、県事業を活用したもののだが、3歳以上及び3歳未満の第1子については、村として人口減少対策を考える中で、国の子育て施策の動向を踏まえて総合的に検討する。

【問】新型コロナウイルス感染症の対応について伺う。

①国、県及び市町村の支援措置は、縮小もしくは打ち切りの方向となっているか。

②今後も行政支援が必要ではないか。

【村長】①本年度における新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金は、4月の臨時議会で補正予算を計上した。交付限度額は、昨年度同時期と比較してほぼ横ばいとなっている。

今後の見通しについての情報は入っていないが、長引くコロナ禍や相次ぐ物価高騰、主要魚種の不漁等により村内経済は疲弊しており、引き続き国や県に要望を行うとともに、必要な対策を検討する。

②本年度は、2回のワクチン接種を予定している。6月6日からは95歳以上の方と94歳以下で基礎疾患を有する方の接種を行っており、9月以降には2回目接種を完了したすべての方を対象に実施する。本年度に行なう2回のワクチン接種は、全額が公費負担となる。次年度以降については、今後示される国や県の考え方を踏まえて検討する。

【問】三陸沿岸道路チェーンベースから道の駅に通じる道路開設について、取組みの進捗はどのようになっているか。

【村長】交通量のデータ分析や村内事業所での聞き取り調査、勉強会の開催など、三陸沿岸道路との連結の必要性について検討を重ね、取りまとめた。

また、三陸沿岸道路追加IC整備設計業務委託で、インターチェンジとしての交通規制、構造・規格のチェックなどを行い、必要な機能を含めた詳細な設計をすることとしている。

これらの成果を踏まえ、国土交通省へ提出する連結許可申請に必要な書類を整えており、現時点では関係機関との調整が終盤に差し掛かっていると認識している。国に対しては、できるだけ早く通行が可能となるように、さまざまな機会を捉えて要望を重ねている。

追跡 あの質問

どうなりました

定例会で議員が行った一般質問は、その後の村づくりにどのように活かされているのでしょうか。一般質問のその後を追います。

問

交流人口拡大のため検討している観光関連の施策は？

令和4年12月定例会の一般質問から

答

ソフト…田野畑ならではの体験メニューを充実

ハード…課題の観光地トイレを改修
北山崎トイレは8月に完成

令和5年度の村内行政視察

建設業の成果を確認

政務調査会（佐々木芳利会長）は6月2日、令和5年度の村内行政視察（監査委員定期監査と併催）を行いました。

4月に開園した「たのはたこども園」、三陸沿岸道路チェーンベースとの接続を目指す「村道十文字線道路改良工事」など、令和4年度に完成した建設工事等10箇所を視察。担当課からの説明を受け、工事の完成状況と事業成果を確認しました。



今年4月1日に開園した「たのはたこども園」



旧・田野畑クラフトは除雪車の車庫に活用



村道沼袋三沢線橋梁下部工の状況

ソフト 電動自転車で気軽に村内巡り

村を訪れた方々が、気軽にサイクリングを楽しむことができるように、「道の駅たのはた」や「体験村たのはた」に電動自転車が設置されています。この自転車は、道の駅と体験村が、補助事業を活用して購入したものです。

体験村は8月20日、電動自転車で村内を巡るツアーを実施。「ジオパークの日（8月19日）」の記念行事として行われ、参加者は浜辺の清掃活動を楽しみながら、海岸線のサイクリングを楽しみます。



体験村に設置されている電動自転車

ハード 北山崎園地内のトイレを修繕

北山崎園地トイレは、老朽化による故障で使用できない状況が続いていました。

環境省や県との調整が整ったことから今年4月から工事に着工。8月中旬には完成し、利用できる予定です。

今回の改修では、水洗化とあわせて、海外からの旅行者も利用しやすいように、全ての便座を洋式に変更。ウォシュレットも付いた仕様となっています。

また、鵜の巣断崖駐車場のトイレ



改修中の北山崎園地のトイレ。
8月中旬には完成予定です。

請願書や陳情書の提出方法

請願には紹介議員が必要
内容は簡素にわかりやすく

村民の皆さんの意見や要望を村政に反映させる方法として、請願・陳情があります。

- ① 請願書（陳情書）は、要旨や理由を簡潔に分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は、一人以上の紹介議員が必要です。表紙に署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員がないときは、陳情書として提出してください。
- ⑤ 道路や建物などは、簡単な地図、略図、図面などを添付してください。
- ⑥ 請願書と陳情書（議長が必要があると認めるもの）は、定例会で審査されますので、定例会予定月の前月中旬までに提出をお願いします。

表紙

年 月 日

田野畑村議会
議長 ●●●● 様

〇〇についての請願書（陳情書）

請願（陳情）者

住所
氏名

紹介議員 氏名

内容

（要旨）
（理由）

みんなのスマイル😊



な お み ち
 熊谷直通さん（和野・23歳）㊦
せ い や
 佐藤聖星さん（机・22歳）㊦
そ う じ ゅ う
 川畑颯羽さん（羅賀・18歳）㊦

◆お仕事とご出身は

3人 漁協自営定置網の船員です。

◆海の仕事に就く切っ掛けは

佐藤 父が漁業をしていたこともあり気になっていました。

熊谷 自分も海の仕事に関心がありました。

川畑 昔から海が好き。船に乗って海の仕事をしたいと思っていました。

◆村の好きなところは

佐藤 村の人みんなが親切なところ。

熊谷 海の恵みが豊かなところですよ。

川畑 やっぱり海！

◆村や議会に期待することは

佐藤 交流が盛んになってほしいです。

熊谷 同世代の仲間が増えること。

川畑 や大漁で活気づく村になってほしいと思います。

鈴木村議会議長が

議長会の会長に就任

鈴木隆昭村議会議長が、岩手県と北海道・東北6県の各町村議長会会長に就任しました。

岩手県町村議会議長会の臨時総会は6月6日、岩手県自治会館で開催され、鈴木議長が第34代会長に就任しました。

北海道、東北町村議会議長会 岩手県町村議会議長会

また、北海道、東北町村議会議長会の会議が6月20日、秋田県大潟村で開催され、鈴木議長が会長に就任しました。北海道と東北6県の町村議会では294議会（北海道144、東北150）を数えます。鈴木議長は、「役の大きさに身の引き締まる思いです。もとより微力ではございますが、誠心誠意務めて参ります」と抱負を話していました。



鈴木隆昭議長

あ と が き

今議会は、現任期最後の定例会でありました。私自身も最後の定例会に臨み、同僚議員と共に村政発展に向けた議論を交わしました。

また、閉会の翌日、鈴木議長の県町村議会議長会会長の就任祝いと、新旧代表監査委員の歓送迎会を開催。村当局から三役にも出席いただき、コロナ禍でかなわなかった交流の席を久しぶりに設けることができました。村政談義に花が咲き、腹を割って語り合う場の重要性を改めて感じたひとときでした。

（広報公聴常任委員会

委員 畠山拓雄）